

静岡県における統計情報の利用促進と
統計の普及啓発について

企画広報部 統計利用課

はじめに

統計情報は、社会生活や経済環境等の変化に的確に対応していくために欠かすことのできない重要な役割を果たしています。このため、本県では、統計情報を県民に分かりやすく提供しながら、その利活用を促進しています。

具体的には、統計調査の結果を報道提供や静岡県統計情報ホームページ（以下、「ホームページ」という。）で速やかに公表するとともに、併せて県民が身近なところで統計情報を入手できるように、総合統計書等の各種統計刊行物を発行し、県民サービスセンターや県総合庁舎等に配架し、閲覧できるようにしています。

また、静岡県統計協会等と連携し、静岡県統計功労者表彰や静岡県統計グラフコンクール等を開催し、県内における統計の普及を促進しています。最近、統計リテラシーとして注目を集めている「統計的な問題解決能力」を身につけるには、子供の頃から統計に親しむことが重要であり、本県の将来の人材育成として統計教育の普及にも積極的に取り組んでいます。

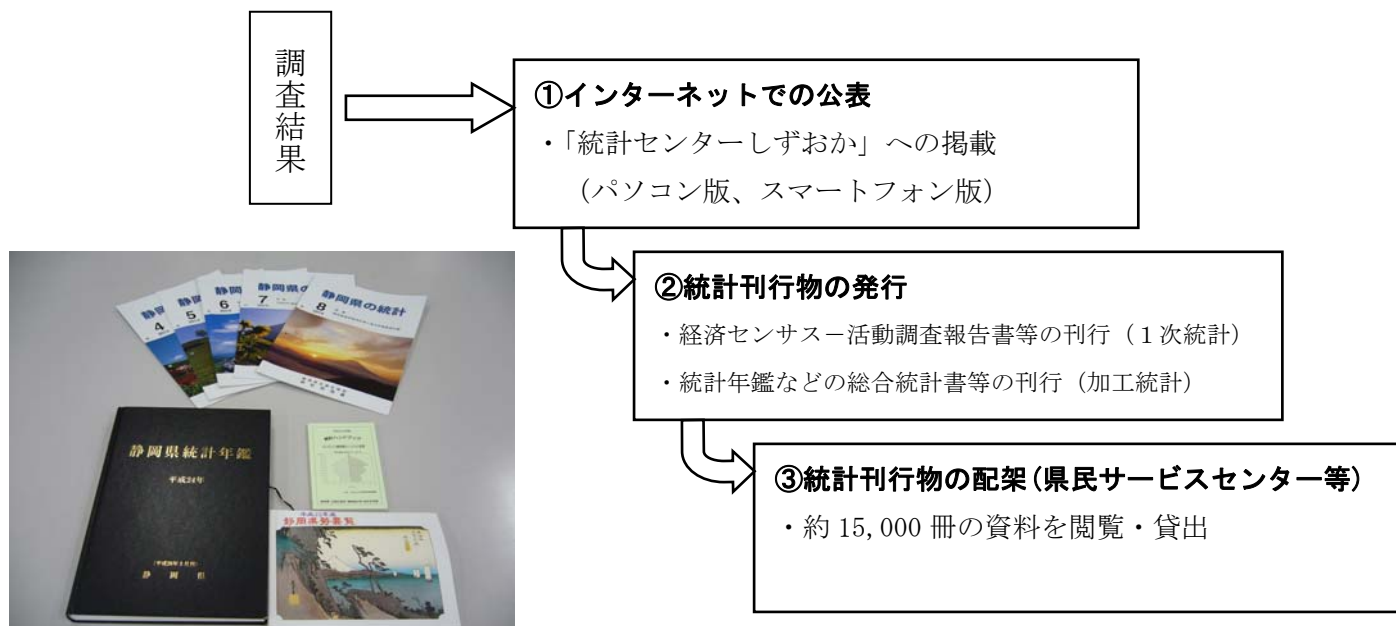
具体的には、県統計グラフコンクールの開催、ホームページにおける統計キッズページの開設、静岡県が日本一のものを集めた「Myしずおか日本一」の作成配布等です。

以上のような取組と併せながら、統計相談総合窓口の開設や経済波及効果等の統計分析手法普及のための統計実務研修会の開催など、統計の利活用促進のための活動を行っています。

1 統計情報の利用促進

(1) 統計調査結果の提供

県では統計調査によって得られた結果を速やかに、分かりやすく、県民等へ情報提供するため、統計情報の利用促進の3つの取組を基本としています。



【総合統計書等の統計刊行物】

(2) ホームページ「統計センターしずおか」

「統計センターしずおか」は、県民に必要な統計情報をいつでも、どこでも、迅速に提供するため、平成13年3月に開設し、平成23年度には、システムの再構築を行い、検索機能やアクセシビリティなどの操作性の向上を図るとともに、新たに統計教育の普及のための統計キッズページも開設しました。

現在、このホームページの登録データ数は11,111件(平成26年12月末現在)あり、そのデータは、加工や分析がしやすいファイル形式(エクセルファイル)にするとともに時系列で分析できるよう過年度分データも掲載しています。

そのような取組の結果、年間アクセス数は、平成25年度が約87万件、平成26年度はさらに増加傾向となっています。

※「アクセシビリティの向上」とは、高齢者や障害者をはじめ全ての人にとって使いやすいように、視認性に配慮するとともに音声読み上げソフトに対応するなどの取組

ホームページの充実

- 平成26年1月から、掲載した統計情報を二次利用しやすい形式のオープンデータにするなどコンテンツの充実強化を開始
- 平成26年10月には、近年、利用者が増加しているスマートフォンからのアクセスに対応するため、10月18日の「統計の日」に合わせて、スマートフォン版を公開

【統計センターしずおかパソコン版】

(URL : <http://toukei.pref.shizuoka.jp>)

【アクセスランキング】

【スマートフォン版】

【年度別アクセス件数の推移】

(件)

年度	H22	H23	H24	H25	H26
件数	285,327	348,935	810,620	877,512	733,448

※H26は平成26年12月末現在

※平成24年2月からのアクセス数は総ページビュー数

2 統計の普及啓発

(1) 普及啓発のための取組

調査に従事する統計調査員、調査に協力いただく県内事業所等の皆様を毎年、「静岡県統計功労者表彰式」で表彰し、県内における統計の普及とともに関係者の士気高揚を図っています。(H26年度：11月25日、静岡市で開催)

今回の特集では、普及啓発活動の中で統計教育に関する取組を次項以降で皆様にご紹介します。



(2) 統計グラフコンクール

静岡県統計グラフコンクールは、小・中学生等を対象に日常生活の中で観察したこと等を統計グラフに表現し、統計の正しい見方や考え方の普及啓発を図ることを目的として、静岡県教育研究会、静岡県統計協会と共催で昭和27年から毎年開催しています。

全国的な応募数減少傾向の中、平成26年度は、県内から1,473点もの多数の応募があり、全国で第3位の応募総数でした。

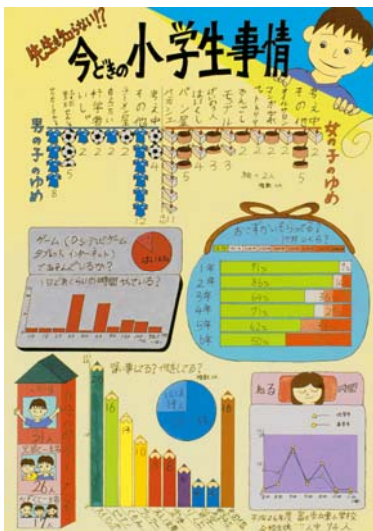
9月に実施された県審査会で、1,473点のうち、74点が県知事賞等優秀作品として選定され、県統計功労者表彰式で表彰されました。また、優秀作品のうち、23点は全国コンクールに出品され、入選1点、佳作7点と優秀な成績を収めました。

【県統計グラフコンクール応募数の推移】

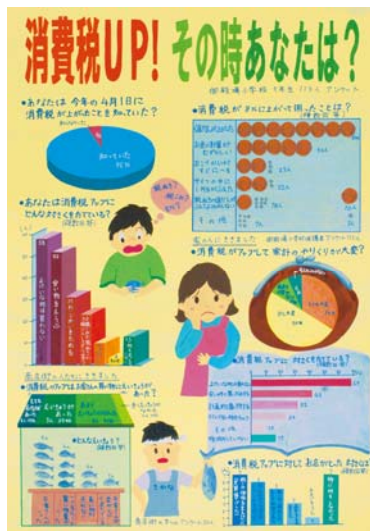
(件)

年度	H22	H23	H24	H25	H26
応募数 (全国順位)	1,660点 (第3位)	1,455点 (第3位)	1,304点 (第4位)	1,175点 (第5位)	1,473点 (第3位)

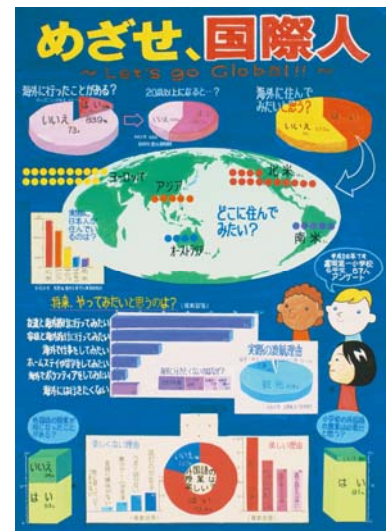
【平成26年度静岡県統計グラフコンクール優秀作品】



【県知事賞第2部】
(全国コンクール佳作)



【県教育長賞第4部】
(全国コンクール佳作)



【県教育研究会長賞第4部】
(全国コンクール入選)

コンクールの作品区分

- | | |
|---------------------|----------------|
| 第1部 (小学校1～2年生) | 第2部 (小学校3～4年生) |
| 第3部 (小学校5～6年生) | 第4部 (中学生) |
| パソコン統計グラフの部 (小学生以上) | |

(3) Myしずおか日本一

本県には、世界遺産「富士山」をはじめ、お茶やみかんなど、様々な魅力があります。そのため県民の皆様にも、静岡県を再発見していただくとともに、統計を身近に感じて興味を持ち、理解を深めてもらうことを目的に、統計からみて静岡県が日本で一番のものを「Myしずおか日本一」としてインターネットやリーフレットで紹介しています。リーフレットでは、日本語版だけでなく7種類の外国語版(英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、モンゴル語、スペイン語、ポルトガル語)も作成し、県内外の方々に、静岡県を再発見していただくとともに、統計を身近に感じて興味を持ち、理解を深めてもらうことを目的に、統計からみて静岡県が日本で一番のものを「Myしずおか日本一」としてインターネットやリーフレットで紹介しています。リーフレットでは、日本語版だけでなく7種類の外国語版(英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、モンゴル語、スペイン語、ポルトガル語)も作成し、県内外の方々に、静岡県を再発見していただくとともに、統計を身近に感じて興味を持ち、理解を深めてもらうことを目的に、統計からみて静岡県が日本で一番のものを「Myしずおか日本一」としてインターネットやリーフレットで紹介しています。

【Myしずおか日本一 リーフレット】



※このリーフレットは、統計センターしずおかにPDF版として掲載中。2015年版は本年3月公開予定 (URL:<http://www.pref.shizuoka.jp/j-no1/>)

(4) 統計キッズページ

統計を子供たちがより身近に感じ、理解を深めてもらうため「統計センターしずおか」に統計キッズページ「グラフ博士のとうけい工場～数字で見える！みんなの静岡県～」を開設しています。

主な内容としては、統計グラフから静岡県の人口、産業、暮らしなど様々な静岡県の姿を学べる「グラフで見よう静岡県」のほか、「博士に挑戦〇×クイズ」など、子供たちが楽しみながら、統計を学べるようになっています。

また、統計グラフコンクールの作り方を学べるページもあり、毎年、作品募集期間(6～9月)には多くのアクセスがあります。内容は、多彩なコンテンツで構成されているため、子供たちの学習用教材として、学校現場等で幅広く活用されており、県教育委員会と連携を図りながら、PRに努めています。

【キッズページアクセス件数の推移(6～9月)】 (件)

	6月	7月	8月	9月
H24	3,569	9,319	9,211	3,041
H25	3,957	12,464	14,512	2,799
H26	4,412	16,859	16,417	2,267



【キッズページ】

(5) 夏休み・親子統計セミナー「ふじっぴーのグラフ教室」

統計教育推進の取組の一環として、平成25年度から県立中央図書館と共催で夏休み親子統計セミナー「ふじっぴーのグラフ教室」を開催しています。

主に、小学校3～6年生を対象に、親子で統計を学んでもらうために実施しており、平成26年度は8月7日(木)に開催し、11組23人の参加がありました。



【当日の様子】



3 統計知識の向上のための取組

(1) 統計コンシェルジュ（「統計に関することなら何でも相談に応じます。」）

県・市町の職員が幅広く統計分析を活用できるようにするため、統計相談総合窓口（統計コンシェルジュ）を設置し統計に関する様々な相談・助言を行っております。

平成25年度からは、さらに対象を広げ、県民の皆様の質問・相談にも対応しています。

【統計コンシェルジュ相談実績】

	H26			H25	H24	内容例	
	県	市町	その他				
経済波及効果	11	10	0	1	8	9	リフォーム補助金の経済波及効果を知りたい
県民経済計算	9	1	0	8	8	4	静岡県の県内総生産等の最新数値を教えてください
産業連関表	5	0	1	4	2	1	公共事業の雇用創出効果を計算したい
アンケート	9	6	1	2	19	20	標本数はいくつにしたら良いか。
統計データ	34	15	2	17	26	13	市町別の完全失業率が知りたい。
回帰分析	1	1	0	0	0	1	重回帰分析の結果の見方
将来人口推計	38	10	21	7	10	—	将来人口推計ソフトの使い方
その他	10	7	0	3	7	5	地域メッシュ統計について教えてください。
計	117	50	25	42	80	53	

※平成26年度の実績は、平成27年1月16日現在

<統計コンシェルジュ連絡先>統計利用課分析班：054-221-2241、2242

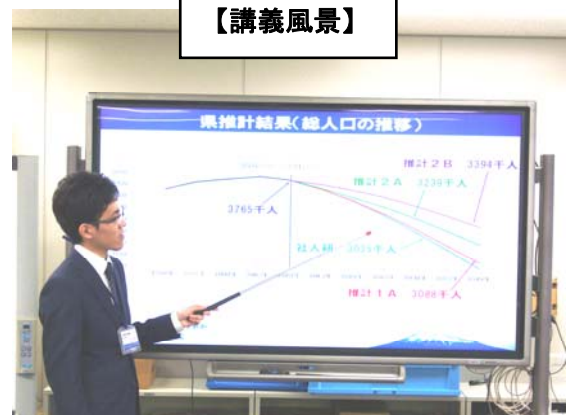
(2) 統計実務研修

県・市町職員を対象に統計分析手法が比較的簡単に習得できるように、統計実務研修を実施し、県内における統計分析手法の利用促進に努めています。

【研修科目の年度別推移】

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
第1回	①アンケート調査の設計 ②経済波及効果の基礎	①アンケート調査の設計 ②経済波及効果の基礎	⑤将来人口推計の基礎と実践 ③統計データの加工と分析
第2回	③統計データの加工と分析 ④回帰分析の基礎	③統計データの加工と分析 ④回帰分析の基礎	①アンケート調査の設計 ②経済波及効果の基礎
第3回	①アンケート調査の設計 ②経済波及効果の基礎	①アンケート調査の設計 ②経済波及効果の基礎	⑤将来人口推計の基礎と実践 ④回帰分析の基礎
第4回	③統計データの加工と分析 ④回帰分析の基礎	③統計データの加工と分析 ④回帰分析の基礎 ⑤将来人口推計の基礎	③統計データの加工と分析 ②経済波及効果の基礎
第5回			①アンケート調査の設計 ④回帰分析の基礎 ⑤将来人口推計の基礎と実践

【講義風景】



(3) 統計分析ソフトの公開

県・市町職員のみならず、県民の幅広い分析手法の活用を促進することを目的に、当課では経済波及効果や将来人口推計等の分析ソフトを作成し、ホームページ「統計センターしずおか」で公開しています。

【分析ソフトの種類と概要】

	名称	概要
1	市町別将来人口推計ソフト	国勢調査結果や転入超過数等により 30 年後までの人口を推計
2	経済波及効果分析ソフト	平成 17 年産業連関表により様々な産業の需要増加に伴う波及効果を算定
3	同上（環境負荷量測定機能付）	経済波及効果分析ソフトに地球温暖化ガス発生量等の測定機能を追加
4	観光分析ソフト	旅行者数、購入率、購入単価等の入力で経済波及効果を算定
5	価格波及分析ソフト	消費税や個々の商品の価格上昇が各産業の価格に与える影響を算定

4 統計情報の主な活用事例

企業等においては、市場調査や波及効果分析などの基礎資料等として利用され、また、行政機関では総合計画をはじめとする各種事業計画や施策の策定及び推進のための基礎資料等として活用しております。

利用区分	統計調査名	活用事例の概要
法令に基づくもの	国勢調査	市となるための要件、議員定数の基礎資料（地方自治法）、地方交付税交付金の算出（地方交付税法）、選挙（公職選挙法）等
	毎月勤労統計調査	休業補償額の改訂（労働基準法）
企業等の活用例	家計調査	食品関連企業におけるマーケティング（市場調査等）の基礎資料等
	消費者物価指数	企業等の賃金、公共料金や家賃の改定の際の参考にされる他、年金などの物価スライドにも利用
行政機関の活用例	各種統計調査	総合計画等将来のマスタープランの策定のための指標
	国勢調査	少子高齢化対策、医療・福祉対策、防災計画の策定等
	住宅・土地統計調査	住宅建設計画等
	労働力調査	景気判断の指標、雇用対策等

5 統計の一層の普及啓発を図るために

統計は過去、現在を理解し、次代を読み解くためのパートナーであり、県民等にとって未来を展望するために欠くことのできないものであります。この貴重な共有財産である統計情報が県民生活の向上に活かされますよう、いつでも、どこからでもアクセスできる統計情報ホームページ「統計センターしずおか」の充実・強化を図るとともに、利用者の皆様の更なる利便性の向上のため、よりわかりやすく、利用しやすい統計情報の提供に努めてまいります。

ご意見、ご感想などがありましたら、県統計利用課まで、お寄せください。

<連絡先> 統計利用課統計企画班：054-221-2243、2298

メールアドレス：toukeiriyous@shizuoka.lg.jp